

言葉とアメリカ先住民族

アメリカ先住民の女性から見ると、英語とスペイン語はアメリカ大陸の抑圧者の言葉です。この大陸に住む先住民はみな、母語を持っています。先祖たちはこの言葉を話すことを禁じられ、話すとは死の脅威にさらされることもありました。ここまで脅かされたのですから、これらの言葉が忘れられたり、抑圧者の言葉が日常の言葉になることは当然のことといえます。

私が学校に通い始めたころ、私の話す言葉の中にある鼻音をとるために言葉を矯正するクラスに送られました。この鼻音はアニシナベ語にもともとある音で、アニシナベ語の多くの単語を正確に話すためには必要不可欠なものです。今、私は自分の母語を学ぶためにもがき苦しんでいます。母語を話すときに感じる恐怖と、言葉を奪い取られた悲しみをディスチャージしなければなりません。

ユネスコ¹によると、世界中にある6000の言葉の50%以上が失われようとしています。平均すると2週間にひとつの言語がなくなることになります。ジャック・カルティエ²がセントローレンス川を船で上ったころには約300あった先住民の言葉が、今では175に減り、その内子供たちも話すことができる言葉は25だけです。ひとつの民族が組織的な大量虐殺をされたら、たとえよい政策を作っても、この民族の言語を回復することはできません。もしこの言語を話せる人が一人もいなくなったら、生き残っている人がいたとしても、言葉を取り戻すことは不可能です。

南北アメリカの多くの先住民族は、自分の民族の言葉以外にスペイン語や英語、人によってはその他に一つか二つ、つまり三つか四つの言葉を流暢に話します。

私たちは、自分たちが直面している状況にしっかりと向き合わなければなりません。言葉の抑圧をなくそうと語る時には、先住民族の大量虐殺と、この大陸に住むすべての人々に英語やスペイン語を話すことを強要していることについてたくさんセッションしてください。

マーシー・レンドン

アメリカ先住民族の解放のための国際照会者

ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ合衆国

¹ ユネスコ…国連教育科学文化機関

² ジャック・カルティエ…16世紀のフランス人探検家。カナダを「発見」した人の一人として知られている。

Language, and Native Americans

プレゼントタイム 2006 年 10 月号 33 ページより

Marcie Rendon

訳：藤吉求理子

この文章の著作権はラショナルアイランド社にあります（翻訳 2007 年。原文 2006 年）。

この翻訳はあくまで草稿として扱ってください。